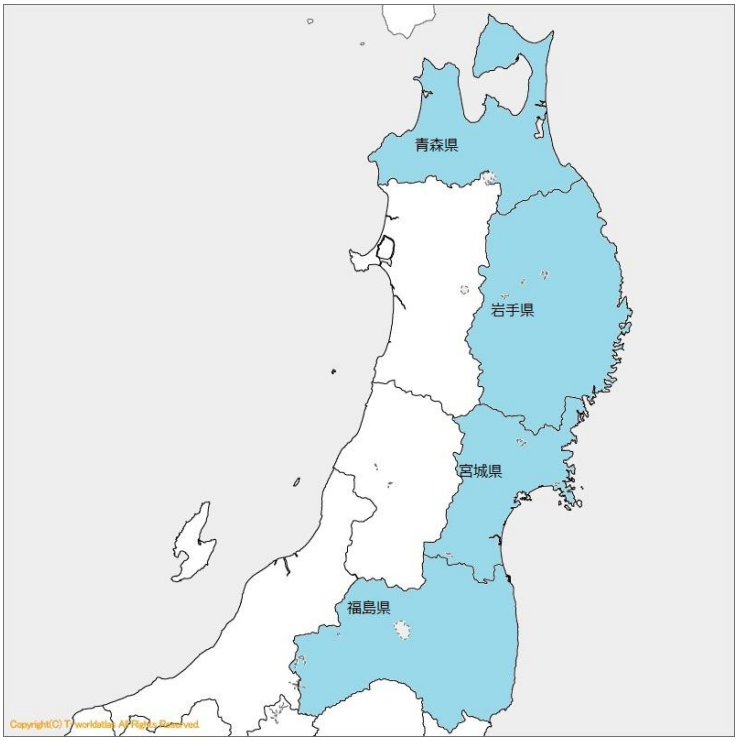
図書館常設展示　第7回

# よみがえる東北の水産業

## 東日本大震災と水産の歴史




場所：東京海洋大学附属図書館（品川キャンパス）

期間：2012 年 3 月 27 日（火）～6 月 28 日（木）

主催：東京海洋大学附属図書館

この展示目録は東京海洋大学附属図書館の蔵書からこのたびの展示のために選択した図書等を原則として出版年順に並べ、書名、巻次、著者名、出版社名、出版年、請求記号を記した。請求記号は東京海洋大学附属図書館蔵書の背ラベルに記載された番号。

2012 年 3 月 8 日現在

## はじめに

東北太平洋側の海域は、親潮と黒潮が交差して豊かな漁場を形成しており、昔から人々は豊かな海の幸を生活の糧にして暮らしてきました。しかし、これらの地はまた津波が頻繁に襲来するところでもありました。そのたびに多くのものを失いながらも奇跡のように復興・再建を果たしてきた歴史は、この地に生きる人々の底力を感じさせます。

今回の展示は、東京海洋大学附属図書館の豊富な水産関係資料の中から、東北太平洋側の地域に関する本を紹介します。東日本大震災の被害からの復興を願いつつ、東北の水産業の歴史をどうぞご覧ください。

## 1　東北地方

1 **東北六縣漁業税漁船税調査書**［出版者不明］［1928］004/H11/E173

2 **三陸地方津浪災害豫防調査報告書** 農林省水産局［編］農林省水産局 1934 169/N61/1

昭和 8 年の三陸大津波について当時の農林省水産局が、水産関係の被害を中心として調査し、まとめた詳細な報告書。調査は災害予防対策を確立することを目的としており、全 55 町村各地区の被害状況、津波襲来の経路や規模などに応じてそれぞれ防波堤建設、高台への住居移転などの対策と予算が見取図と共に示されている。

3 **三陸方面及北海道東南岸鮭鱒沖取漁業調査報告書**　農林省水産局 1934 664/N96

4 **農林水産統計から見た浅海生物の漁獲・収穫量**（東北海域に於ける浅海漁業 1）東北区水産研究所増殖部編 東北区水産研究所増殖部 1965 664.4/To25

5 **海の壁 ： 三陸沿岸大津波**（中公新書 224）吉村昭著 中央公論社 1970 452.5/Y91

6 **三陸沿岸漁業資源の培養および流通加工基地の形成に関する基本構想** 岩手県［編］岩手県　1971 661.4/I97

7 **東北海区海洋研究文献目録(昭和 20 年～46 年)** 東北海区海洋調査技術連絡会 1972　660.3/To25/R

8 **海鳴りの記 ： 三陸漁業のあゆみ** 小松宗夫著 宮城県北部鰹鮪漁業協同組合 1974 660.2/Ko61

気仙沼市役所に勤務する筆者が三陸海岸の人々の“海との苦闘史”を記録しようと約 10 年をかけて膨大な記録を集め、著した漁業史。

9 **漁業・諸職（東北の生業 2）** 三浦貞栄治[ほか]著 明玄書房 1981 660/N77

10 **哀史 三陸大津波** 山下文男 青磁社 1982 452.5/Y44

明治 29 年、昭和 8 年の三陸大津波の被害の様子を記録や証言を中心に伝える。

11 **東北海域・北海道オホーツク海域の魚類**　日本水産資源保護協会　1983 487.5/A43

12 **写真記録近代日本津波誌**　山下文男　青磁社　1984　452.5/Y44

13 **三陸沿岸の漁村と漁業習俗（東北歴史資料館資料集 10）上巻** 東北歴史資料館編 東北歴史資料館 1984　661.8/To25

14 **三陸沿岸の漁村と漁業習俗（東北歴史資料館資料集 11）下巻** 東北歴史資料館編 東北歴史資料館 1985　661.8/To25

宮城・岩手・青森の 3 県の 13 漁村で手漕ぎ船時代に生きた地先漁業の体験者の話をもとに当時の漁業

の習俗を記録することを目的とした調査の報告書。各地の漁業習俗が詳細に記録されている。

15 **三陸さかな歳時記** 蓮井清文 ; 岩淵欣治版画 ; 三陸河北新報社編 河北新報社 1989 487.5/H89

石巻の地域紙「石巻かほく」の連載記事を単行本化したもの。魚ごとに迫力ある版画と魚にまつわるエピソードや話題が紹介され楽しく読める。著者は水産講習所の卒業生。

16 **三陸・常磐沿岸のツノナシオキアミとその漁業** 小達和子 日本水産資源保護協会 1991 664.7/017

17 **東北水産要覧 平成 3 年度版** 北海水産新聞社 1991 660/To25

18 **三陸海岸，相模湾沿岸，駿河湾沿岸における組織の津波警報伝達・避難対策** 船津衛，三上俊治，野田隆［出版者不明］1993 452.5/F89

19 **1994 年三陸はるか沖地震災害調査報告書** 三陸はるか沖地震災害調査委員会編 三陸はるか沖地震災害調査委員会 1995 453/S66

20 **東北海区の人工魚礁と魚類の生態写真集** 東北区水産研究所八戸支所 1995 664.1/To25

21 **マグニチュード 7.5 の衝撃** : 三陸はるか沖地震の記録 : 1994.12.28 21:19 青森県総務部消防防災課編 青森県総務部消防防災課 1996 453.2/A54

22 **東北さかな紀行** 野村祐三 無明舎出版 2002 664.6/N95

東北６県の漁港と漁港ごとの地魚･浜料理をカラー写真で紹介。豊かな東北の海の幸を味わいたくなる。

23 **三陸沿岸の漁村と漁業習俗**（日本の漁村・漁撈習俗調査報告書集成 2 北海道東北地方の漁村・漁撈習俗 2)上巻，下巻 東北歴史資料館編 東洋書林 2004 661/N77/2

24 **三陸の海と生物**:フィールドサイエンスの新しい展開 宮崎信之編 サイエンティスト社 2005 662.6/Mi88

25 **津波の恐怖 : 三陸津波伝承録** 山下文男 東北大学出版会 2005 452.5/Y44

26 **資源管理型沖合漁業推進総合(三陸沖きちじ等:三陸沖合海域) 調査報告書** 平成 16 年度 水産総合研究センター開発調査部 2006 661.7/Sh29

27 **資源管理型沖合漁業推進総合(三陸沖きちじ等:三陸沖合海域)調査報告書** 平成 17 年度 水産総合研究センター開発調査部 2007 661.7/Sh29

28 **東北フィールド魚類図鑑** : 沿岸魚から深海魚まで 北川大二［ほか］著 東海大学出版会 2008 487.5/Ki63/R

29 **漁場が消える : 三陸・マグロ危機**［河北新報社編集局編］河北新報出版センター 2010 660.2/Ka19

30 **哀史 三陸大津波** : 歴史の教訓に学ぶ 山下文男 河出書房新社 2011 452.5/Y44

## 2 青森県

31 **青森縣漁具誌** 上巻、下巻 青森縣内務部 1891-1892 192/A61/1

明治 22(1889)年、青森県下の西津軽郡・東津軽郡・北津軽郡・下北郡・上北郡・三戸郡で行われた漁具・漁法を実地に調査し図解した資料。網漁・釣漁・採貝採藻を模写し、また、古老等に聞取り調査を行い､74 種を収録した。第三回内国勧業博覧会(明治 23(1890)年)に浄書本が出品されたと見られる。なお、本書は極めて珍しい図書で、国立国会図書館、岩瀬文庫、東京海洋大学に上下巻の完本が所蔵されている。

32 **青森縣漁具誌**　山田直次郎［写］　1894　665.5/A54

33 **青森縣漁具誌**　青森縣水産試驗場　1915　004/H11/A615

34 **漁村經濟調査**　昭和９年３月　青森縣水産會　1934　004/H11/E36

35 **青森県海の生物誌**　２版　平井越郎 東奥日報社　1965　468.2/H64

36 **青森県の漁具**（青森県民俗資料図録　第２集）　青森県立郷土館　1975　665.5/A54

青森県内の漁具について昭和 50 年頃調査されたもので太平洋は八戸市大久喜が調査対象となっている。だんだん姿を消しつつある伝統的な漁具の写真が興味深い。

37 **八戸市における沖合底曳網漁業経営**（中小漁業構造改善事業等経営指導報告書 昭和 50 年度）［平沢豊著］　水産庁　1976 P661/50A

38 **青森県太平洋側沖合の底魚類の資源動向について ： 昭和 27 年～51 年**　東北区水産研究所八戸支所 1980　664.4/So32

39 **原色青森県海藻図鑑**　七尾善麿　1980　474/N48/R

40 **八戸地方の漁労用具**（文化財シリーズ 第 21 号）　福田進　八戸市教育委員会　1980　665.5/F74

41 **北部太平洋海区における大中型まき網漁業の実態調査** ： 八戸、いわき地区の漁労および水産加工についての報告　大海原宏|[著]，小野征一郎|[著]　農林中央金庫水産部　1980　664.4/091

42 **青森県産魚類目録** ： 青森県水産試験場報告　塩垣優　青森県水産試験場　1982　487.5/Sh72/R

43 **八戸魚市場五十年史**　八戸魚市場　1982　675/H11

44 **青森県大畑地区における大型いかつり漁業経営**（中小漁業経営調査報告書　昭和 57 年度）　大日本水産会　1983　P661/50/57

45 **青森県水産史**　青森県　1989　660.2/A54

江戸時代から昭和までの青森県水産業の歴史、経済、行政、法制などについて詳細に記載した書物。青森県の漁業史を知る上で欠かせない書。

46 **海から拓く ： 八戸港湾運送昭和史**　八戸港湾運送株式会社編　八戸港湾運送株式会社　1989 683.9/H11

47 **青森県漁具誌**　改訂版　青森県水産試験場　1991　665.5/A54

48 **百年の歩み** ： 青森県水産試験場　青森県水産試験場編　青森県水産試験場　200　660.7/A54

49 **八戸沿岸の漁撈習俗**（日本の漁村・漁撈習俗調査報告書集成 1 北海道東北地方の漁村・漁撈習俗 1）八戸市博物館編　東洋書林　2004　661/N77/1

八戸沿岸の有形・無形の漁撈民俗資料を調査し記録・保存することを目的として、百石町・八戸市・階上町の古くから漁業の営まれていた地区から 10 ヶ所を選び調査した。古老の方々が体験した大正後期から昭和初期までの手漕ぎ舟を使用していた頃の生活に焦点をあわせた

50 **八戸の漁業**（八戸の歴史双書）近代編　山根勢五著　八戸市立図書館市史編纂室編　八戸市 2006 662.1/Y36

51 **八戸魚物語**　石戸芳男編　デーリー東北新聞社　2008　487.5/I81

52 **八戸浦″クジラ事件″と漁民** ：〈事件百周年〉駒井庄三郎家所蔵「裁判記録」より　岩織政美著 ； 田名部清一サポート　「八戸浦″くじら事件″と漁民」刊行委員会　2011　661.9/I95

「くじら事件」とは明治 44 年、八戸浦の漁民約 1,100 人が鮫村にあった東洋捕鯨鮫事業場を襲い、放火・破壊した事件である。本書は失われていた記録を駒井家に唯一残る裁判記録から解き明かし、八戸漁業史に残る事件の実像に迫るものである。

## 3　岩手県

53 **乍恐奉願上事**　［柿崎御手漁場鮪建網御用一件留並願書］　天保 5[1834]　004/H11/J14（写本）

54 **漁場御買入為御登御用雑書**［岩手県下閉伊郡］　天保 8[1837]酉八月　004/H11/J327（写本）

55 **［岩手県下御巡回拝命］**　明治 19[1886]　004/H11/J37（原文書）

56 **捕介採藻ニ関スル訴願綴**　［岩手県上閉伊郡大槌町］　［明治 36[1903]］　004/H11/J235（原文書）

57 **宮古浦大漁ぶしの由来**　下閉伊郡水産會　［1900 年代］　004/H11/A788

58 **岩手縣宮古町三ヶ村住民共同漁業組合各漁場沿革調査書**　岩手縣立水産学校　1927　004/H11/K41

59 **漁業基本調査書**：乃昭和三年至昭和四年調　下閉伊郡水産會編　下閉伊郡水産會　［1930］　173/I86/2

60 **岩手縣氣仙郡大船渡村水産業是**：漁獲物の調査により水産業是樹立の一様式　小安正三　岩手縣氣仙郡大船渡村　1930　660.2/Ko97

61 **保證責任岩手縣水産販賣利用組合事業計畫書**　［出版者不明］　［1932］　162/I85/1

62 **岩手縣水産業是**　岩手縣　1932　660.2/I97

63 **三陸津浪襲來の動向**　林喬　岩手水産試験場　1933　004/H11/H14

64 **保證責任宮古漁業協同組合規約**　宮古漁業協同組合　［1936］　004/H11/F7

65 **岩手縣水産要覧**　昭和 12 年　岩手縣水産會　［1937］　004/H11/A724

66 **宮古港**　宮古町役場編　宮古町役場　1937　004/H11/A278

宮古港港湾修築竣成を記念して港湾修築の経過と町勢の概要を記した図書。巻頭に昭和 12 年当時の宮古港全景写真があり、75 年前の宮古港が偲ばれる。

67 **下閉伊郡水産要覧**　下閉伊郡水産會　1937　004/H11/A863

68 **昭和十三年度事業計畫書**　宮古漁業協同組合　1938　004/H11/K199

69 **第三十六年度事業報告書**　宮古漁業協同組合　［1938］　004/H11/K198

70 **氣仙郡海區、下閉伊郡海區**　［出版者不明］　［1951］　004/H11/H89

71 **岩手縣産鮑調査報告　第 1 号、第 2 号**　岩手縣水産試験場　1953　484.4/I97

72 **岩手縣漁業史料　第 2 輯**（明治 8-10 年)岩手県水産部［編］　岩手県水産部漁政課　1954　660.2/I97

73 **岩手漁協八十年の歩み**　釜沢勲　いさな書房　1959　661.6/Ka31

明治時代の漁協の成立から大正期の近代化とそれに伴う経営体の変化、漁業紛争、漁業会の活動と解散から新しい漁協の成立過程が記述されている。

74 **岩手県水産試験場 50 年史**　岩手県水産試験場　1960　660.7/I97

75 **さけますはえなわ漁業経営調査報告書**：岩手県宮古市および山田町　清光照夫　［大日本水産会］　1970　P661/50

76 **岩手県沿岸の漁具漁法**　岩手県水産試験場　1972　665.5/I97

77 **岩手県沖合魚礁精密調査報告書**　岩手県水産試験場　1973　664.4/I97

78 **原色海藻図譜**: 岩手県越喜来半島周辺海域産の海藻　高松正彦　北里大学水産学部　1974　474/Ta42

79 **岩手の深海魚**　岩手県林業水産部　1977　487.5/I97

80 **陸中国宮古湾漁場史　[正]**　川原田義男編著　宮古漁業協同組合　1977　660.2/Ka92

81 **陸中国宮古湾漁場史　続**　川原田義男編著　宮古漁業協同組合　1980　660.2/Ka92

[正]編は「岩手縣宮古町三ヶ村住民共同漁業組合各漁場沿革調査書」の翻刻、続編は岩手縣宮古町三ヶ村住民共同漁業組合関係の書類の翻刻である。[正]編は住民共同漁業組合が漁業免許を受けた漁場を中心として建網之部、地引網之部、鮭留之部と分け、創業時、免許法、徴税法を記録し、組合経歴、漁業営業経過、漁夫使設及給料、収益配当等、当時の実態を記録している。続編は住民共同漁業組合の規約、漁場免許の記録、漁業経営の報告等を詳細に記録している。

82 **宮古沿岸地区における漁業の動向**　東北農政局岩手統計情報事務所宮古出張所　1978　660/Mi76

83 **岩手の魚類　1 ヒラメ・カレイ類**　岩手県水産試験場　1981　487.5/I97

84 **大槌町漁業史**　大槌町漁業史編纂委員会編　大槌町漁業協同組合　1983　660.2/099

縄文時代から昭和に至るまでの大槌町の漁業史について詳述した書物。津波についても明治 29 年、昭和 8 年の三陸大津波、昭和 35 年のチリ津波について、当時の様子、被害状況等の記載があり、いくたびかの津波で被害を受けながらも復興してきた歴史がわかる。

85 **岩手の魚類　2 ソイ・メヌケ類**　岩手県水産試験場　1983　487.5/I97

86 **岩手県漁業史**　岩手県編　岩手県　1984　660.2/I97

縄文時代から昭和に至るまでの岩手県の漁業について記されている。水産団体、水産に関係の深い人物の記述、年表などがあり、県内の漁業史を知るうえで参考になる。

87 **岩手の魚類　3 サケ・マス類**　岩手県水産試験場　1986　487.5/I97

88 **岩手県種市町の塩（町史編纂資料 2）1**　斎藤潔編　種市町教育委員会　1990　669/S25

89 **岩手県水産試験場創立 80 年のあゆみ**　岩手県水産試験場　1991　660.7/I97

90 **岩手の魚百科**(カラー百科シリーズ)井田齊［ほか］著;岩手日報社出版部編　岩手日報社 1992　487.5/I18

91 **岩手県におけるアワビの栽培漁業**　全国豊かな海づくり推進協会　2007　663/Sa17

92 **岩手県水産試験場岩手県水産技術センターの 100 年**　岩手県水産技術センター　[2010]　660.7/I97

明治 41 年からの岩手県水産試験場の歴史を記載。伝書鳩による漁海況伝達試験、手書きによる試験場報告などが当時を偲ばせる。昭和 8 年の大津波では「大槌町の孵化場設備一切を流失した」とある。

## 4　宮城県

93 **宮城縣漁具圖解**　宮城縣農商課編撰　山口徳之助　1888　004/H11/A786

宮城県立図書館所蔵の明治 16 年開催の第 1 回水産博覧会へ出品された「管内漁具及水産画帖并説明書」(肉筆彩色画)を原本として明治 21 年に刊行された書籍。所蔵館が少ない貴重な資料である。

94 **宮城縣水産一覧表**　宮城縣第一部農商課編　山口徳之助　1888　108/M41/1

95 **宮城縣漁具圖解**　[筆写資料]　山田直次郎［写］　1894　665.5/Mi73

96 **宮城縣漁業基本調査報告書　第 1 巻 漁業一班**　宮城縣水産試験場　1909　660.2/Mi73

97 宮城縣漁業基本調査報告書　第 2 巻 鹹水及淡鹹水漁具漁法　宮城縣水産試驗場　1910　660.2/Mi73

98 宮城縣漁業基本調査報告書　第 3 巻 漁業組織及漁期漁場漁礁　宮城縣水産試驗場 1911　660.2/Mi73

99 宮城縣漁業基本調査報告書　第 4 巻 製造設備生産及製法製氷魚氷装及魚市場　宮城縣水産試驗場 1914　173/M41/1

100 宮城縣漁業基本調査報告書　第 5 巻 養殖之部　宮城縣水産試驗場　1916 004/H11/E95

「宮城縣漁業基本調査報告書」は全 6 巻であり、本学では残念ながら第 6 巻を所蔵していないが、いずれも、明治後半から大正初期の宮城県漁業の詳細を知る基本的図書であり貴重な資料である。

101 宮城縣漁場圖　宮城縣水産試驗場 1911　004/H11/A787

明治 44 年に宮城県水産試験場から発行された県内漁場図。当時の漁場の分布が色別に示されている。

102 宮城縣海苔牡蠣養殖調査報告　［製作者不明］［1920］　122/M01/1

103 漁業慣行調　［其ノ 1］，其ノ 2　［宮城縣水産課編］［宮城縣水産課］　1934　004/H11/J87

104 開港した鹽竈　板宮文藏編　東光社　1934　683/I88

105 松岩村とその漁業組合の再出發 ： 宮城縣本吉郡（村の調査報告）　下村千秋［著］；大政翼贊會文化部編　翼贊圖書刊行會　1942　661.8/Sh53

106 宮城縣漁業権調査報告　宮城縣水産業會　1948　004/H11/E92

昭和 22 年 4 月 1 日現在の漁業権単位の調査報告。

107 宮城縣本吉郡氣仙沼港を根據とするカツオ釣漁業に於ける勞働関係実態報告　水産廳　1951　664.4/Su51

108 石巻港および渡波港技術調査報告　濱田徳一［ほか］著　運輸技術研究所港灣物象部　1951　518/U77

109 陸前唐桑の史料（常民文化研究 第 72 日本漁村史料 第 2 集）　宇野脩平編著　日本常民文化研究所 1955　661.8/U77/2

110 秋刀魚魚價対策調査報告書 ： 氣仙沼水産加工業実態調査　全國漁業協同組合連合会　1956　661.6/Z3

111 気仙沼湾カキ養殖場の生態学的研究　気仙沼湾開発研究所［編］；今井丈夫［ほか著］　気仙沼市役所 1957　663.7/I43

112 宮城の水産業（調査課資料 第 187 号 県勢分析シリーズ no.1）　宮城県調査課　1960　660.2/Mi73

113 宮城県水産高等学校五十周年記念誌　丹野進一郎編　宮城県水産高等学校　1963　660.2/Ta88

114 宮城県沿岸海中公園調査報告　［1967］，1969　東北観光開発センター　［1967］-1969　468.2/Mi73

115 まき網漁業経営調査報告書 ： 宮城県石巻市および茨城県大津港（中小漁業経営調査報告書）　山本辰義［著］［大日本水産会］　1968　P661/50

116 宮城県水産試験場 70 周年記念誌　宮城県水産試験場　1969　660.7/Mi73

117 陸前高田市まき網漁業の実態（中小漁業経営調査報告書［昭和 43 年度］）　山本辰義　［大日本水産会］　1969　P661/50

118 石巻市におけるまき網漁業経営（中小漁業構造改善事業等経営指導報告書　昭和 50 年度）　［高橋冨士夫著］　水産庁　1976　P661/50A

119 **広田漁業史**　広田漁業史編集委員会編　広田町漁業協同組合　1976　660.2/H74

陸前高田市広田町の漁業の発達と広田漁業協同組合の事績及び之に関連する社会の動きを広く取り上げた漁業史である。時代的には江戸時代以降が記述されている。昭和 8 年の三陸大津波の災害復旧事業も記載されている。

120 **‘78 宮城県沖地震災害の概況** ： 応急措置と復興対策　宮城県［編］　宮城県　1978　453/Mi73

121 **組合三十年史**　宮城県北部延縄漁業協同組合『組合三十年史』編纂委員会編　宮城県北部延縄漁業協同組合　1979　661.6/Ku38

昭和 24 年 6 月の組合設立から始まり、30 年間にわたる組合の記録を集録した図書。戦後の漁村の新生を目指した初期の胎動や困難な経営と変遷の数々が記録されている。

122 **1978 年宮城県沖地震による被害の総合的調査研究**　佐武正雄研究代表　［佐武正雄］　1979　453/S83

123 **‘78 宮城県沖地震災害の教訓** ： 実態と課題　宮城県編　宮城県　1980　453/N48

124 **1978 年宮城県沖地震に関する資料目録**　東北大学工学部自然災害科学資料室　1981　453/Se69

125 **原色魚類図鑑** ： 気仙沼市魚市場に水揚げされる魚類　佐藤隆平,長谷部明石共著　気仙沼市[1982]　487.5/S85/R

126 **気仙沼漁業協同組合史**　気仙沼漁業協同組合　1985　661.6/Ke61

組合前史として、明治時代のノリ養殖、竹輪カマボコ、カツオ節等の生産推移、ぞの前身である気仙沼水産倉庫、気仙沼漁業会の変遷推移とその時代時代の漁業、水産加工についても詳述されている。気仙沼漁業協同組合の歴史についても、経済活動と政治の動きと連動した様を分析しながら記述している。

127 **宮城中部海域総合開発事業調査報告書**　昭和 58 年～60 年度　宮城県　1986　660.2/Mi73

128 **宮城県の伝統的漁具漁法　2 中部地区**　宮城県水産試験場　1989　665.5/Mi73/2

129 **宮城県の伝統的漁具漁法　3 北部地区**　宮城県水産試験場　1990　665.5/Mi73/3

130 **宮城県の伝統的漁具漁法　4 南三陸の和船(カッコ)**　宮城県水産試験場　1991　665.5/Mi73/4

131 **宮城県の伝統的漁具漁法　5 内水面**　宮城県水産試験場　1992　665.5/Mi73/5

132 **宮城県の伝統的漁具漁法　6 養殖編(のり)**　宮城県水産研究開発センター　1993　665.5/Mi73/6

133 **宮城県の伝統的漁具漁法　7 養殖編(かき)**　宮城県　1994　665.5/Mi73/7

134 **宮城県の伝統的漁具漁法　8 養殖編(わかめ・こんぶ)**　宮城県　1995　665.5/Mi73/8

135 **森は海の恋人**　畠山重篤　北斗出版　1994　660.4/H41

136 **古今無二路 ： 宮城県水産高等学校創立百周年記念誌**　創立百周年記念誌編集委員会編　宮城県水産高等学校　1997　376/So55

137 **塩釜すし哲物語** ： 日本一のマグロを握る　上野敏彦　筑摩書房　1999　596/U45

138 **こちら石巻さかな記者奮闘記**　高成田享著　時事通信出版局　2009　661.9/Ta46

## 5　福島県

139 **福島縣石城郡水産誌**　福島縣石城郡役所　1917　173/H87/1

福島県石城郡の水産業の概要、漁撈一班、漁夫雇用関係、水産製造、養殖、漁村(四倉町、江名村、小

名濱町、豊間村、鮫川村、窪田村、錦村)の現状、水産関係規程、水産統計等が記載されている。

140 **江名水産誌**　江名濱漁業組合編　江名濱漁業組合　1925　660.2/E56

141 **江名漁港修築記念写真帳**　江名濱漁業組合　1928　004/H11/A637

昭和2年に福島県江名漁港の修築が完了した時の記念写真集。

142 **施設要覧**　福島縣石城郡小名濱町漁業組合　福島縣石城郡小名濱町漁業組合　1930　004/H11/A872

143 **江名濱漁業組合規約**　江名濱漁業組合　[1932]　004/H11/F4

144 **福島県水産大観**　荒川禎三編　いわき民報社　1960　660.2/I93

145 **江名漁業史**　江名町漁業共同組合[編]　江名町漁業協同組合　1962　660.2/E56

明治以前、漁船にまだ動力がなく魚網にも藁縄を用いた時代を黎明期、大正から終戦までの、船体が動力化し、江名漁港が築港された時代を創業期、終戦後の、制度の民主化、漁場の拡大などの時代を発展期として3期に分けて江名の漁業史を記述している。

146 **福島県近海かつお・まぐろ漁業経営振興対策基本調査報告書**　福島県農政部水産課　1971　661.7/F84

147 **福島県水産累年統計** ： 昭和30年～平成2年　東北農政局福島統計情報事務所編　東北農政局福島統計情報事務所　1991　660.5/F84

148 **福島の海産動物方言集** ： 魚の呼び名（福水試調査研究資料 no.243）　福島県水産試験場編福島県水産試験場　1995　664.6/F84

149 **福島県浜通りの海事習俗** ： 福島県立博物館調査報告第五集 ： 浜通り地方海事習俗調査　（日本の漁村・漁撈習俗調査報告書集成 1 北海道東北地方の漁村・漁撈習俗 1）　福島県教育委員会編　東洋書林　2004　661/N77/1

昭和58年の福島県浜通り地方(相馬市、原町市、いわき市、相馬郡、双葉郡)の学術調査。浜通り地方は関東と東北を結ぶ人と物資の交通路として早くから開け、特色ある文化を形作ってきた。漁撈習俗を中心に、船に関する技術や伝承、陸上・海上の交通の実態、海に面した地域での人々の暮しぶりなど、海事習俗も調査された。

## その他の展示物

150 **写真 金華山沖に於ける捕鯨艇** 明治42(1909)-43(1910)年 雲鷹丸遠洋航海記念アルバムより　楽水会

水産講習所の練習船、雲鷹丸が金華山沖で捕鯨実習をしたときの写真。

151 **東京水産大学第十回生卒業記念アルバムより** 1962

東京水産大学の学生が練習船“神鷹丸”の乗船実習で女川、大船渡に行った時の写真。

図書館常設展示　第7回　よみがえる東北の水産業－東日本大震災と水産の歴史－

発行日 2012年3月27日　編集・発行 東京海洋大学附属図書館　〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7

TEL 03-5463-0444　FAX 03-5463-0445　http://lib.s.kaiyodai.ac.jp
©東京海洋大学附属図書館